

一般質問



▲どう開発される？日本テルベン跡地

佐伯町長3期の足跡を問う

答弁 = 「委員会などで述べている」



清水 ひろ子

「古代から輝く未来へ」と題して進めてこられた、第3次播磨町総合計画の体系に基づき、これまで実施されてきた施策の成果と波及効果について町長の見解をお聞きします。

(1)「文化を創造するまち」
・今年4月から、「ミゼン」、公民館、図書館などが指定管理者の運営となった。指定管理者制度の導入効果と期待される将来像は、
・「男女共同参画行動計画」が策定されている。審議会への女性委員登用については、40%以上を目指していたが、現状はどうか。何らかの推進策はとられたか。女性職員の登用はどうか。
・町長が理想とされる当町における教育環境とは、
(2)「健康で安心できるまち」
・保育行政推進においての

理解と見解は。子育て学習センターが廃止され、子育て中のお母さんたちに動揺が。子育て支援における留意点とその効果は。
(3)「安全でさわやかなまち」
・公園の新設、駅周辺整備など、多くのハード整備を進めてこられたが、その事業効果についての見解は。
(4)「快適で活力あるまち」
・住民の健康保持、良好な生活環境保持への配慮や交渉についてどのように対処されてきたか。
・商工会、民間企業と行政が合同で立ち上げた新会社の町施策への関わりをどうイメージされているか。
(5)「協働してつくるまち」
・広職事業に対する評価は。
・行財政運営の適正化として行ってきた行財政改革の達成状況と見解は。

このような質問をされるというのではどうでしょう。議員はすでに報道機関に町長選挙に出馬することを表明されています。議員として在籍している以上、議員として質問をするというのはルールとして認めますが、この時期、何らかの意図があったことが分かりかねます。本職としては、想定外であり、常識外れのことです。

尚、ご質問の本身は、これまで本会議や予算委員会や決算特別委員会でも述べられておりますし、施策の大綱につきましては、毎年度、施政方針で明らかにしています。4点目の件に関しては、先にそれぞれの議員にお答えしたとおりです。

答弁 佐伯町長



民生生活

「土山駅南地区開発事業は」

4月27日開催

企画グループより

(株)フロンティアはりま(仮称)会社設立と出資説明を受ける。

・議会で承認された5000万円を新会社に出資し、事業参画を決めた。

出資状況は、平成18年4月25日、本町を含む20社で2億円の出資で、全体の25%となる。3割以内で5000万円の限度に合致するもので出資した。

筆頭株主なので計画の考

え方は。

A 発行株式数60000株、価格5万円、設立時は3600株、資本金1億8000万を目標として、事業目的は16項目です。不動産の取得については「複合交流センター」に携わってゆく。管理運営、行政サービスコーナー、住民に検討していただいた内容を実現するために施設の建設。民間の考え方で運営。

最初に「不動産の取得、売買、仲介、管理業務」と「駐車場、駐輪場の経営」「店舗、イベント」新会社を設立し、相手方と協議の中で決めてゆく。民間にやってもいい、筆頭株主でも経営者として前に乗り出さない。

Q リスクを町がどこまで負うのか。

A リスクのない事業はないが、最終的な責任の範囲は出資額を限度とする。

Q まちづくり整備事業と駐車場の整備は別問題。なぜ一緒にするのか。

A 別の事業である。町にとっても、新会社も、有利

な方法はなにかという結論で今日にいたっている。

二市二町議会環境保全協議会の報告

5月31日開催

(株)神戸製鋼所加古川製鉄所の大気汚染について協議

ばい煙データ改ざんについて代表者から謝罪があり、その後経緯説明があった。

昨年5月に社員1名の死亡事故が発生。平成18年3月に経済産業省による立ち入り調査が実施された。国への報告の準備として社内調査を実施した結果、測定データが不適切であると確認された。

5月26日、東播磨県民局と加古川市が合同で立ち入り調査を実施している。事実関係を確認し、神戸製鋼に6月22日までに報告書の提出を求める。

住民からの相談、苦情に対応するため、相談窓口を設置。

事実関係を究明し、再発防止に取り組む。

建設水道

都市再生整備事業を視察

5月17日(富山県滑川市) 5月18日(富山県富山市)で視察研修



▲駅前開発の説明を受ける(滑川市)

Q 燃焼温度の改ざんによるダイオキシンの発生問題は。夜間にはばい煙を大量に排出しているのでは。
A 周辺住民への謝罪は。ダイオキシンの発生は測定を実施しており、問題はない。ばい煙の排出は昼も夜も同じ。住民の方へお呼びする。地元自治会役員に説明したい。

てJR滑川駅の周辺87・4ヘクタールの整備を進めている滑川市を視察。中心市街地地区整備事業によって「市街地の整備」と「商業などの活性化」などの各種事業を進めている富山市を視察し、調査・研究を行った。

広報公聴

広島県神石高原町などを視察

5月15日(広島県神石高原町) 5月16日(広島県熊野町)で視察研修



▲誌面の充実で意見交換(神石高原町)

平成16年7月24日

議会運営

議会の活性化をめざして

5月22日(富山県小矢部市) 5月23日(富山県津幡市)で視察研修

より一層の議会の活性化をめざすため、議会改革大綱の制定により議員定数の削減などの議会改革に積極的に取り組んでいる小矢部市と津幡町を視察し、調査・研究を行った。



熊野町では、住民参加の「コナエ」を設けるなど紙面づくりについては毎回試行錯誤の連続であるとの説明を受けた。表紙の写真の考え方には学ぶ点があった。